



salesforce

THE NEW AGE OF ANALYTICS

新時代を迎えたアナリティクス

はじめに

データに秘められた可能性

データから有用な情報を読み取るのは難しいものです。2014年4月にIDCが発行したレポートによると、2013年時点の「デジタルユニバース（地球上で生成、複製されるデータの総量）」は4.4ゼタバイトに達し、そのうちの20%以上がタグ付けや分析する価値のある有益なデータであるにもかかわらず、実際に活用されているのは5%にも満たないといいます。つまり、健康、サステナビリティ、食の安全、物流、教育など、私たちが直面する喫緊の社会問題に対する解決策が、見過ごされている可能性があるのです。あるいは、今では忘れ去られたレポートや分析結果の中に、欲しかった答えが埋められている可能性もあります。今、こうした状況を見直すときが来たのです。

Peter Coffee

米国セールスフォース・ドットコム、ストラテジックリサーチ担当 VP、
ピーター・コフィー

目次

02 はじめに

03 時代が求めるツール

05 Wave Platform -
3つのブレイクスルー

07 「革新」から「実用」へ

08 まとめ

第1章

時代が求めるツール

企業はこれ以上、データ活用の問題から目をそらし続けることはできません。40年以上も手をつけられずにいたこの問題に、決着をつけるときが来たのです。[1974年に発表された論文](#)に、「ネットワークを介したデータ照合技術は、コーディングとプログラム実行のコストがかさむために利用が進まなかった。」という悲観的な一文があります。この論文では、APLによるインタラクティブ分析の実現を力強く予言していますが、専用キーボードが必要なほど簡潔な言語として知られる APL ベースのインタラクティブ分析が主流になることは、ついにありませんでした。

それから40年、ムーアの法則のとおり計算能力は発展してきました。[データ処理のコストは大幅に下がり](#)、ディスプレイ技術や双方向テクノロジーが飛躍的に向上した今こそ、インタラクティブ分析を実現できるはずと多くの企業が期待したものです。しかしながらこのビジョンは、おもちゃの電車に本物の巨大なエンジンを積もうとするようなものでした。「負荷が高くなる決算期には、複雑なレポートの実行はお控えください」という悲しい内容のメールに、どれだけの人が肩を落としたことでしょうか。

ワークステーションに匹敵する処理能力を搭載したパーソナルデバイスが普及している現代において、CPUの性能がユーザーによるインタラクティブなデータ分析の足を引っ張るなど、あってはならないことです。

アナリティクス機能の普及や活用を阻み、新しいアイデアや取り組みを生み出すというアナリティクス本来の力を妨げてきた障害を取り除く頃合いです。

こうした問題の解決に正面から立ち向かったのが、Salesforce Analytics Cloud です。Analytics Cloud は、2013年6月に買収した EdgeSpring のテクノロジーを基盤にセールスフォース・ドットコムでさらに改良を加え、2014年10月15日、[満を持して](#) Dreamforce で発表されました。アナリティクスプラットフォーム「Wave」を基盤とする Analytics Cloud は、これまでの常識を打ち破る3つのブレイクスルーを実現しています。

ワークステーションに匹敵する処理能力を搭載したパーソナルデバイスが普及している現代において、CPUの性能がユーザーによるインタラクティブなデータ分析の足を引っ張るなど、あってはならないことです。

第2章

Wave Platform - 3つのブレイクスルー

1つ目のブレイクスルーは、データ検索の手法です。デジタルユニバースで人々はどのように情報を探すのか、20年間の観察の成果が Wave に活かされています。1990年代に起こったインターネットの覇権をめぐる「検索エンジン戦争」は、事実上 Yahoo! のライブラリサイエンティストと Google の PageRank アルゴリズム開発者との戦いでした。"Yet Another Hierarchical Officious Oracle" (もうひとつの気が利く階層型データベース)の頭文字を並べた Yahoo! は、ディレクトリ型検索を中心に発展。一方 Google は、あらかじめ用意したデータを押し付けるのではなく自律的に求める情報へとたどり着くことを可能にする、ロボット型検索エンジンの代表格です。

どちらに未来が約束されていたかは、[ご存知のとおり](#)。
Yahoo! は、[2014年9月](#)に Yahoo! ディレクトリサービスの年内終了を発表しました^{*1}。調べ物をしていると、思いもよらない検索結果にデータ探索の範囲がさらに広がっていくことがよくあります。あらかじめ分類されたディレクトリの検索にとどまらない、インデックスサーチを可能にした Analytics Cloud は、自由度の高い検索でユーザーのニーズに応えます。

^{*1} 米国 Yahoo による発表。



“調べ物をしていると、思いもよらない検索結果にデータ探索の範囲がさらに広がっていくことがよくあります。Analytics Cloud は、自由度の高い検索でユーザーのニーズに応えます。”

2つ目のブレイクスルーは、ユーザーが探索する多様なデータ構造に対応しているという点です。行と列から成る従来のデータストアは、無駄と不足が常に併存しています。シンプルな情報を表現するには空白の列が余計で、複雑なデータを表現するには列の数が足りないのです。スキーマフリーのアーキテクチャを採用した Wave は、このような従来のデータ構造につきものの弱点から解放されているため、リソースを無駄遣いせずにデータの表現力を高めることができます。

情報を得るのにモバイルアプリを利用する人の数が、デスクトップブラウザを利用する人の数を上回りました。こうした現状を踏まえて開発されたことが、Wave の 3つ目のブレイクスルーです。ビジネスユーザーが業務の主戦力としてモバイルを活用している今、モバイル対応はもはやサブ機能や二次的な要件ではありません。そして、「モバイル」とは単に1人が1台のスマートフォンを使うことを意味するわけではありません。ポール・グレアム氏が語るように、手のひらサイズの端末から壁掛けディスプレイに至るまで、あらゆるデバイスで実現できるのが[タッチパネルによるデータ操作](#)です。話題になった Corning 社の動画 "A Day Made of Glass" (ガラスが支える一日) でも、私たちを取り巻くあらゆるモノとインタラクティブな関係が生まれる未来を予言しています。

“

情報を得るのにモバイルアプリを利用する人の数が、デスクトップブラウザを利用する人の数を上回りました。Wave は、こうした現状を踏まえて開発されています。

”


第3章

「革新」から「実用」へ

イノベーションを単に目新しいものとして終わらせずに、実際に役立つものにするためには、2つのことが必要です。まず、誰もがあらゆるデバイスから世界中に格納されたデータを探索できること。次に、ネットワークに接続していない状態でもデータを分析できることです。Wave はいずれにも対応しているため、最新デバイスの高い処理能力と直感的な操作性をフルに活用すれば、従来のアナリティクスツールではできなかったことが実現できます。

常にインターネットと接続している環境の中で、人間の行動が変化していくのは自然なことです。人々はコラボレーションのためのネットワークを形成し、より緊密なフィードバックを求め、意思決定を指先ひとつのタッチでその場で下せる手軽さを求めるようになります。しかし、十分な裏付けがないまま早急に意思決定を下すと、間違った方向に急速に舵を切ることになりかねません。悪いことに、その決断の正しさを過信している分、結果から学びを得たり失敗を次に生かしたりすることが難しくなります。

「常につながる」という願いをかなえてくれたランプの精を、再びランプに戻して、なかったことにすることはできません。それなら、「確かな情報につながる」という2つ目の願いをかなえてもらいましょう。目の前にある大量のデータが、単に事実を示しているだけでは情報とは呼べません。私たちの問いかけに答えてくれて初めて、データは情報に生まれ変わるのです。



“常にインターネットと接続している環境の中で、人間の行動が変化していくのは自然なことです。”

まとめ

多額の費用と 20 世紀型のハードウェアを使って、膨大なデータからより正確に、速く、意味ある情報を読み取ろうとする試みは、もはや頓挫しています。行き詰まっている手法に固執しても、失敗の痛手が大きくなるだけです。処理能力を分散させる必要性、激増するデータとその複雑さへの対応、どこにいても知りたいことへの答えがすぐにほしいというニーズ——これらはすべて、今を生きる私たちが向き合うべき現実です。Salesforce Analytics Cloud は、広がり続けるデジタルユニバースを探索するうえで、心強い羅針盤になることでしょう。

ピーター・コフィーについて



米国セールスフォース・ドットコムの上級戦略リサーチ担当 VP。Exxon 社および Aerospace Corporation 社で技術職、管理職を 11 年間経験。1989 年以降は執筆活動を中心に活動。MIT の工学士、ペパーダイン大学の経営学修士を取得。

ビジネスユーザーのための アナリティクスツール

Analytics Cloud は、今日のビジネスユーザーが必要とするインテリジェンスを提供する強力なアナリティクスツールです。スキーマフリー、ハードウェア不要、すぐに使い始められる Analytics Cloud で、データの本来の価値を引き出しましょう。



この eBook で提供されている情報は、あくまでもお客様の便宜のために提供されるものであり、一般的な情報提供のみを目的としています。セールスフォース・ドットコムが公開することにより、これを推奨するものではありません。セールスフォース・ドットコムは、この eBook に含まれる情報、文言、画像、リンク、またはその他の事項の正確性または完全性について責任を負いません。セールスフォース・ドットコムは、この eBook に記載されたアドバイスに従うことにより特定の成果が得られることについて、何らの保証をするものではありません。特定の状況に応じた具体的なアドバイスについては、弁護士、会計士、プランナー、ビジネスアドバイザー、プロフェッショナルエンジニアをはじめとする専門家にご相談されることをお勧めします。



THE CUSTOMER SUCCESS PLATFORM